



～ シニア世代男性の地域貢献活動を全国各地に広げるために ～

【新設】まちプロ つながりま賞



と一緒に活動してくださる方々やグループを募集します!!

表彰：応募団体の中から、次の2タイプを選考させていただきます。

- ◆ スクラム組みま賞 1 団体 (すでにある程度活動実績があり、本法人と互恵的な関係が発展できる団体)
- ◆ 一緒に歩いま賞 2 団体 (ようやく活動を始めたばかり、あるいはこれからスタートする団体等。僭越ですが本法人がそのお手伝いをさせていただければ幸いです)

※ 活動応援費各賞50,000円は、住友生命保険相互会社の助成金を使わせていただきます。

【応募方法】

▶ 応募方法Ⅰ 手書きで応募

別途応募用紙(本法人HPからもダウンロード可能)に記入の上、FAX(03-3556-8475)にご応募ください。

※ 別添資料がある場合は、右記までご郵送ください。 〒102-0075 東京都千代田区三番町7

あい・ぽーと麹町「まちプロつながりま賞」担当宛

※ 提出された書類は、原則として返却いたしません。必ず控えを保管くださるようお願いいたします。

▶ 応募方法Ⅱ オンラインで応募

右のQRコードのページから、必要事項を入力の上、ご応募ください。



【応募の流れ】

【応募】書類提出〆切

2020年12月4日(金)

ご応募内容について事務局より問い合わせさせていただきます。

【審査結果のご連絡】

2020年12月25日(金)

【授賞式】

2021年1月24日(日)

※ 授賞式は、「子育て・まちづくり支援プロデューサー」オンライン・シンポジウム第3回(※裏面参照)の中で行います。

お問い合わせ

NPO法人 あい・ぽーとステーション 代表理事 大日向 雅美 (恵泉女学園大学学長)

【TEL】 03-3556-8471 【FAX】 03-3556-8475 【HP】 <https://www.ai-port.jp/> 【E-mail】 koza@ai-port.jp

ウィズ・コロナ すべての人に「居場所」を

～シニア世代がひらく共生社会への道～

主催：NPO法人あいぽーとステーション 助成：住友生命保険相互会社 後援：厚生労働省・内閣府



3回の連続シンポジウムを開催

新型コロナウイルスの感染拡大は、社会の分断、「人」の分断を促しました。「人」を元気に、豊かにするのは、何より「人」とのふれ合いから。だから、地域社会に「出番」と「居場所」を見つけて、生きがいあふれる生活を送りたい。それは、とりわけ孤立・孤独になりがちなシニア世代に求められることではないでしょうか。共に支えあい、語りあい、元気に過ごす—そうした「共生」の社会を開いていくのは、あなた自身の「一歩」からです。

本シンポジウムでは、(1)「居場所」をどう見つけていくか(2)各地での果敢な実践例をさぐる(3)シニア男性の社会参加に先駆けてきた「まちプロ」をモデルに、地域貢献の活動を深化させる道を探ります。

プログラム

★すべてZOOMによるオンライン・シンポジウム。各回参加者は、感想等をリアルタイムで送信可。

 <p>【第1回】 新しい共生のカタチへ 2020年11月7日(土) 15:00～16:30</p>	<ul style="list-style-type: none">◆ 基調講演① 「コロナ禍の子どもたちの居場所」 山口 正行 (厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課虐待防止対策推進室長)◆ 話題提供① 「世代を超えた居場所の実現」 森田 真希 (NPO法人 地域の寄り合い所 また明日 代表理事)◆ 基調講演② 「新たな“つなぎ直し”の時代に」 宮本 太郎 (中央大学法学部教授) 「参加者による討論」
 <p>【第2回】 新時代への種まきプロジェクト 2020年12月12日(土) 15:00～16:30</p>	<ul style="list-style-type: none">◆ 基調講演① 「参加・協働の在り方 少子化対策の観点から」 泉 聡子 (内閣府子ども・子育て本部参事官(少子化対策担当))◆ 基調講演② 「社会貢献と生きがい・健康をめぐる」 藤原 佳典 (東京都健康長寿医療センター研究部長) 「参加者による討論」
 <p>【第3回】 まちプロ全国展開へ 2021年1月24日(日) 15:00～17:00</p>	<p>「シニア世代の【これまで】と【これから】」</p> <ul style="list-style-type: none">◆ 基調講演① 権丈 善一 (慶応義塾大学商学部教授)◆ 基調講演② 高木 美智代 (衆議院議員・元厚生労働副大臣)◆ トークセッション 高木 美智代 権丈 善一 汐見 稔幸 (東京大学名誉教授・本法人理事) 司会：大日向 雅美 (恵泉女学園大学学長・本法人代表理事) <p>「若い世代からのメッセージ」 後藤 慶太郎 (厚生労働省 子ども家庭局家庭福祉課 虐待防止対策推進室自治体支援係) 八木 万祐子 (内閣府 子ども・子育て本部参事官(少子化対策担当)付)</p> <p>～「つながりま賞」授賞式～</p>

参加対象：ご興味のある方はどなたでも参加頂けます 定員：先着250名 参加費：無料

申込方法：あいぽーとステーションHP または右記QRコードよりオンラインでお申込み下さい

申込〆切：各回 開催の5日前まで





オンライン・シンポジウムについて

趣 旨

NPO法人あい・ぽーとステーションは2003年から地域の育児力向上をめざした活動を展開してまいりました。その一環として2013年春から「現役時代の名刺で勝負!」と銘打って、シニア男性の第二の人生を切り開く活動支援を実施しております(子育て・まちづくり支援プロデューサー:愛称 まちプロ)。一枚の名刺には長年の仕事人生で蓄えた素晴らしい知識・技能・経験が込められている、それを地域活動と子育て支援に生かしてほしいと願ってのことでした。

これまでほとんど接点のない世界に躍り出た男性たちですが、この7年間の歩みにはシニア世代男性にとって想定外の大きな喜びと気づきがありました。同時に従来、女性と子どもから成り立ってきた地域や子育てひろばの光景もまた、シニア世代男性の参画で一変しました。まさに老若男女が互いに手を携え支えあう地域がスタートしたといっても過言ではありません。

そうした中、今春から世界を覆ってきた新型コロナウイルスの感染拡大によって、社会も人も分断されています。人々は多くの不安をかかえ、内向き志向が顕著になっています。私たちはこういう時代だからこそ、人と人との絆、共生のあり方を見つめなおしたいと考えます。人を元気にするのはやはり人とのふれ合いです。誰一人として取り残されることなく、すべての人が自分らしい“居場所”を見つけられる社会を築きたい。世代を超え、性を超えた支えあいによる地域づくりを進めてきた私どもの活動をさらに広く発展させたい。それがコロナ禍に打ち勝つ道と信じます。

オンラインシンポジウム「ウィズ・コロナ すべての人に居場所を」(全3回)に、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

「まちプロ」とは...

シニア“男性”を対象とした、全国でも画期的なプロジェクト(住友生命保険相互会社助成事業)。2013年に開始され、養成講座を受講し『子育て・まちづくり支援プロデューサー』に認定されたシニア男性たちが、自治体(港区・千代田区等)とNPO法人あい・ぽーとステーションの協働による子育て支援を軸とした“有償”の地域活動で活躍している。企業人・社会人として培ってきた豊富な人生経験を活かしながら、シニア男性が地域で活躍する姿は、新たな生きがいづくり・社会参加のプログラムとして注目されてきています。

現在、第8期まで養成が進み、**第9期養成講座を来春(2021年2月頃)**開講予定です。

まちプロ つながりま賞創設

シニア世代男性の地域貢献活動を全国各地に広げるために、と一緒に活動してくださる方々やグループ、これから類似の活動を始めたいと考えている方々を募らせていただきます。

表彰：応募団体の中から、次の2タイプを選考させていただきます。

- ★ **スクラム組みま賞** 1団体 (すでにある程度活動実績があり、本法人と互恵的な関係が発展できる団体)
- ★ **一緒に歩いま賞** 2団体 (ようやく活動を始めたばかり、あるいはこれからスタートする団体等。僭越ですが本法人がそのお手伝いをさせていただければ幸いです)

活動応援費各賞 50,000円は、住友生命保険相互会社の助成金を使わせていただきます。

応募方法：本法人のHPで公開の募集要項等に沿ってご応募ください。**12月4日(金)まで**。

法人紹介・お問い合わせ

NPO法人 あい・ぽーとステーション:代表理事 大日向 雅美 (恵泉女学園大学学長)

(法人紹介) 【HP】 <https://www.ai-port.jp/> 【受賞歴】 日本経済新聞社「につけい子育て支援大賞」(2007年)
内閣総理大臣表彰「子どもと家族を応援する日本」功労者(2008年)

(お問い合わせ) 【TEL】 03-3556-8471 【FAX】 03-3556-8475 【E-mail】 koza@ai-port.jp

